

台風・集中豪雨に備える

— 災害は、いつ、どこで起きてもおかしくありません —

台風・集中豪雨の時期になりました。
本市でも過去に何度も河川のはんらん、土砂崩れ、高潮などによる大きな被害が発生しています。このページでは、尊い人命を守るため、防災上役立つ情報をお届けします。

台風は、風による被害に加え、大雨による河川のはんらん、土砂崩れ、沿岸部で高潮による家屋の浸水も発生する可能性があります。

集中豪雨の際には、次のことを心掛け、早目に避難場所へ移動してください。

避難するときの注意点

- 動きやすく安全な服装で(頭を保護し、靴はひもで締められる運動靴)。
- 浸水時は、歩行の際、水深や流速に注意しましょう。
- 隣近所で声を掛け合い、集

- 高年齢者、傷病者、乳幼児など災害時要援護者の安全を確保しましょう。
- 気象情報・災害情報を確認。
- 避難の際には、電気のブレーカーを落とし、火の元を確認しましょう。

浸水のスピードは非常に早く、「まだ大丈夫」と思っている場合もあります。特に「災害時要援護者」は、避難情報が出てからでは、避難行動が間に合いません。一人暮らしの高齢者などには、避難情報



平成2年9月台風19号の大雨で泥の海となった千町平野(邑久町本庄)

☆浸水想定区域図：国土交通省岡山河川事務所
<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>
☆市洪水ハザードマップ
<http://www.city.setouchi.lg.jp/data/kouzui.html>

が伝わりにくいという問題もあります。少しでも異常を感じたときには、隣近所で声を掛け合い、災害時要援護者を避難所へ誘導しましょう。また、災害時には、事故防止のため、田畑を見回ったり、屋根などの高所に上がったりしないようにしましょう。河川や海岸・岸壁など危険な個所には絶対に近づかないようにしましょう。



災害時には隣近所で声を掛け合って

なお、国土交通省岡山河川事務所では、大雨で吉井川の堤防が決壊した場合の浸水想定区域図を、本市でも洪水ハザードマップをそれぞれのホームページで公開しています。

災害時に慌てないためにも、日ごろからこうした防災情報を入手して、わが家の周囲の点検や避難時の非常持出品の準備をしておきましょう。

問い合わせ先

市地域安全推進室
0869-22-3904



市総合防災訓練を開催します

9月6日(日)、
邑久小学校グラウンドで実施

市では、四国南方沖を震源とするM8.6の東南海・南海地震が発生し、瀬戸内市で震度6弱を観測、秋雨前線による連日の降雨で水位が上昇した吉井川の堤防(邑久町豆田、邑上橋下流付近)に亀裂が入り、決壊のおそれとの想定で「第5回瀬戸内市総合防災訓練」を次のとおり開催します。

当日は、避難訓練をはじめ、地震による火災の発生を想定した消火訓練や消防ヘリ、はしご車による救助・救出訓練などを行います。

また、煙体験や起震車による地震体験、救急処置講習などの体験コーナーも設置します。

皆さん、奮って訓練にご参加ください。

▼日時 9月6日(日)
午前9～11時

▼場所 邑久小学校グラウンド

※小雨決行。ただし、災害の発生する恐れのある場合や災害発生後は、状況に応じて中止する場合があります。

※当日は、訓練のため邑久地域に防災無線でサイレンを鳴らし、避難勧告を発令します。

問い合わせ先

市地域安全推進室
☎0869-22-3904

